

小笠原固有マイマイ 飼育は続くよ、どこまでも

小笠原にしかいない固有のマイマイは100種以上！小笠原が世界自然遺産に登録された理由の一つです。



しかし外来種などの影響で絶滅しそうなマイマイもいて、そんなマイマイたちを飼育施設まで持ち帰って繁殖させています。

父島、母島だけでなく、最近では動物園・水族館にも飼育の輪が広がり、一般展示も始まっています。

← 飼育や展示の様子
(左上：父島・遺産センターでの飼育の様子、左下：母島での飼育の様子、右上：葛西臨海水族館での展示の様子)



初めて飼育するマイマイはその方法も試行錯誤しながらです。

どんなエサがいいか、どんな環境がいいか、世話ををするときによく観察しながら工夫をしています。



飼育作業中…



← フンが溜まっているので個体を移動させて新しいエサに取り替えます



→ 別のケースに移動させるときに傷つけないように筆を使うこともあります

いつかマイマイたちが里帰りできるよう、たくさん的人が関わりながら、世話を続けています。

リニューアルしました！

小笠原自然情報センターだよりは2022年10月から「小笠原世界自然遺産だより」にリニューアルしました。これからもみなさまに小笠原諸島の世界自然遺産の魅力とそれを守るために取組についてお知らせしていきます。

小笠原世界自然遺産だより第1号では、今年度実施されている小笠原の自然を守るための取組を紹介しました。

紙面で紹介できる取組はほんの一部です。

小笠原諸島世界自然遺産を守るために取組は他にもたくさん実施されています。



http://ogasawara-info.jp/

遺産事業について
もっと知りたい！

おたよりを読んで、小笠原の自然を守るために取組についてもっと知りたい！と思った方は、「小笠原自然情報センターHP」や「基礎資料集」もご覧ください。

小笠原自然センターHPは左のQRコードから、小笠原諸島世界自然遺産に関する基礎資料集は昨年3月に皆様のお家にお届けしています（小笠原自然情報センターHPからのダウンロードも可能です）。

◆◆お問い合わせ先◆◆

本チラシに関するお問い合わせは、下記のお問い合わせ先にご連絡ください。

環境省小笠原自然保護官事務所（世界遺産センター）
Tel/Fax : 04998-2-7174/7175
林野庁小笠原諸島森林生態系保全センター
Tel/Fax : 04998-2-3403/2650

東京都小笠原支庁土木課自然環境担当
Tel/Fax : 04998-2-2167/2302
小笠原村環境課
Tel/Fax : 04998-2-2270/2271



小笠原

世界自然遺産だより

第1号
2022年10月



小笠原の自然を守るために

R4年度実施の遺産事業紹介

今年度注目の取組をご紹介します

シマグワの駆除 @孫島
弟島のオガサワラグワを守る！

孫島 四方が崖
孫島にある約500本のシマグワを駆除し、唯一天然更新が期待できる弟島のオガサワラグワの保全を目指します。

シマグワはタコノキの間から生えており、鋭いタコの葉の痛みに耐えながら駆除しています。シマグワの考えた、生き残るための戦略なのかもしれません。

シマグワの駆除木

林野庁

グリーンアノール対策 @兄島・大丸山
大丸山の昆虫たちをアノールから守る！

小笠原の貴重な昆虫たちにとって、特に大切なすみかとなっている大丸山。昆虫を襲うアノールからこの場所を守るため、アノールが入れない柵で周りを取り囲む計画を専門家の指導のもとで進めています。

環境省

アジアベッコウマイマイ対策 @母島
固有のマイマイと村民生活を守る！

小笠原固有の陸産貝類との競合が懸念される為、分布域を拡散させないよう駆除剤散布・手取りを実施

集落内では誘引トラップによる駆除を実施
誘引トラップ

2016年に母島 評議平で確認
急速に分布拡大し、現在は元地から中ノ平まで分布

元地集落では雨が続くと大発生！
公衆衛生にも影響

2022年7月に二十丁峠で跳躍分散を確認

駆除剤散布
資材等の移動時の注意喚起

小笠原村 環境省

ノヤギ対策 @父島
ノヤギを捕獲して在来植生を回復！

現在、ノヤギ対策は残すところ父島のみで罠や銃器による捕獲作業を実施しています。

引き続き、在来植生回復のため、捕獲の手を緩めずに、ノヤギ“ゼロ”を目指します。

ノヤギ対策が完了した島では、貴重な在来種の復活が確認されています。
←復活したウラジロコムラサキ（兄島）

東京都

ネズミ対策

オガサワラカワラヒワの巣・繁殖をネズミの被害から守る！

オガサワラカワラヒワの繁殖地のひとつである向島。繁殖期の巣や卵がネズミに食べられてしまうのを防ぐため、島全体に約300のペイトステーション（殺鼠剤の入った誤食防止用の箱）を設置してネズミの数を減らす対策を行っています。

環境省

他にも小笠原の自然を守るためにの取組をたくさん実施中です！